

部活動などの活躍

令和二年度第1回スプリングコンテスト満点賞

6月19日(金)に英語のスプリングコンテストが行われ、各学年ともに好成績を収めました。3年生の平均は93点に上り、これまでの最高点を記録。本当によく頑張りました。満点取得者を紹介します。



3年

(1組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (2組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (3組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

2年

(1組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (2組) ○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (3組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (4組) ○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

1年

(1組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (2組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (3組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (4組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん (5組) ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○くん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

南千住マイスターのコーナー

南千住には多くの史跡・文化財があります。これらは、人の活動によってできたものであり、必ず人とのつながりがあります。南千住には歴史の教科書にも出てくるような、多くの歴史上の人物と関係が深い史跡や文化財があります。このコーナーでは、南千住の史跡・文化財と歴史上の人物を紹介していきます。

第一回は「松尾芭蕉」です。松尾芭蕉は誰でも知る「おくのほそ道」の著者であり、不世出の俳人です。生まれは伊賀で本名は忠右衛門宗房といひ、芭蕉は俳号です。芭蕉は江戸深川の採茶庵(さいとあん)同じ深川の隅田川沿いにあった「芭蕉庵」を引き払って移り住んだところ。芭蕉庵跡には現在芭蕉記念館があります(を船で出て、隅田川を遡り、千住で降り、長い旅のスタートをしました。この千住の地で、おくのほそ道の一番最初に詠んだ句が、素盞雄神社の境内の句碑にもある「ゆく春や鳥啼き魚の目は泪」。これが失立てはじめの句です。芭蕉のこの長旅にかけける思いが込められた一句といえます。旧暦元禄二年三月二十七日(新暦1689年5月16日)のことでした。芭蕉は弟子の河合會良(そと)を伴い千住を出立したあと、日光・那須・白川の関・松島・平泉・立石寺・出羽三山・越後・越中・金沢・敦賀など、東北から北陸をめぐり岐阜の大垣まで、実に五ヶ月かけ約六百里(2400km)を旅して多くの俳句と紀行文を残しました。「夏草や兵どもが夢のあと(平泉)」「閑さや岩にしみ入る 蟬の声(立石寺)」「五月雨をあつめて早し 最上川(新庄)」「荒海や 佐渡によこたふ 天の河(越後出雲崎)」などは特に有名でよく知られた句です。芭蕉は「更科紀行」など、他にも多くの紀行文を残しましたが、おくのほそ道から帰って5年、元禄七年十月十二日「旅に病んで 夢は枯野を かけ廻る」という句を詠んで50年の人生を終えました。

南千住と歴史上の人物 その1 『おくのほそ道 松尾芭蕉』



素盞雄神社 芭蕉の句碑



学校だより
令和二年6月
第106号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

ウィズコロナに向けて

校長 松田 公好

6月15日から通常の登校になり、22日からは部活動も段階的に始まり、学校には徐々に活気が戻ってきました。しかし同時に3密を避けることが困難な場面も増え、生徒のストレスも考慮しながら、換気やマスクの着用と熱中症予防のバランスをとるなど、対応が難しくなったことも事実です。

そんな中、本校で最も大切にしていることは、『生徒一人一人がこのウイルスについての正しい知識をもち、自主的に自分の判断で必要な行動をとることができるようになること』です。

そのため、休校中にはYouTubeの動画をとおして、先日は通常登校開始を機に各学年で時間をとって、感染パターンや感染防止対策の必要性について指導しました。

指導は今後も定期的に行う必要があると考えています。ご家庭でも下の表や動画(学校ホームページの学習支援動画内、校長及び養護教諭発信のもの)を参考に、どのようにウイルスに感染するのか、なぜこの対策が必要なのかをぜひご確認ください。

感染パターン	主な防止対策
飛沫感染	・マスクの着用 ・ソーシャルディスタンス ・正対を避ける ・会話、発声の注意(大声、マスクなし)
接触感染	・こまめな手洗い ・手指消毒 ・施設、用具の消毒 ・目、鼻、口を触らない
エアゾル感染	・こまめな換気

また前号でも触れましたが、本校ではコロナ関連のいじめや誹謗・中傷が絶対に起きないように、心の面の指導も大切にしています。



前述の指導場面では、本校の美術科教諭が作成した『マンガ教材』を使用し、具合が悪くても安心して休養できる雰囲気づくりにも取り組んでいます。

コロナの第2波、第3波がきて、万が一身近な人に感染が確認されても、冷静かつ温かい気持ちで、そのことを受け入れられる集団(学校)をつくっていきたいと思います。

加えて、医療従事者のみなさんをはじめとした、コロナの恐怖と闘いながら私たちの生活を支えてくださっている多くの方々に対する感謝の気持ちを忘れないために、『南二中版 シトラスリボンプロジェクト』も計画しています。

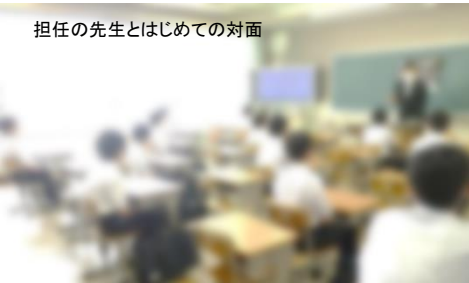


ぜひ『シトラスリボンプロジェクト』で検索または右のQRコードからアクセスいただき、その趣旨を確認してみてください。

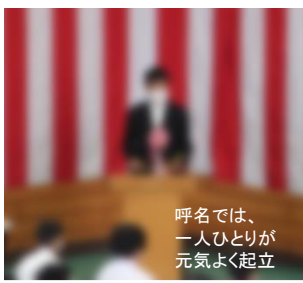
どんな状況においても、南二中は温かい雰囲気とたくさん笑顔に包まれた学校でありたいと思います。ご協力をお願いいたします。

始業式・第32回入学式

担任の先生とはじめての対面



担任の先生を先頭に一列で入場



呼名では、一人ひとりが元氣よく起立

1年生中学校生活スタート!

入学式翌日の3日(水)から、午前と午後に分かれて、各学年の分散登校が始まりました。1年生ははじめての学年集会やクラスでの自己紹介などに続き、4日(木)には、教室から屋上にあるドーム型運動場や1～3階にある特別教室、アリーナ、保健室などを見て回る**校舎見学**が行われました。なかでも緊張していたのが、職員室に入るときにあいさつの練習です。見知らぬ教職員が多い中、ノックをして、“失礼します”と入室し、自分のクラスと名前を言わなければなりません。言い間違えたり、まだ6年生のクラスのままだったりする生徒もいて、職員室内も和やかな雰囲気に入れられ、最後には皆が笑顔で礼法という中学校の最初のハードルを越えました。今では、各種委員会や教科連絡担当も決まり、**毎日職員室にひときわ大きく元氣の良い1年生の聲が響いています。**

職員室入り口で緊張しながらあいさつの練習

屋上にあるドームを見学

はじめての道徳は漫画教材を使ってわかりやすく学習



5日(金)には、クラスメイトのことをよく知るために、お互いの好きなことや特技などをビンゴカードにして、誰のことが当てる「**クラスBINGO**」を実施。大盛り上がりで、楽しく友だちのことが分かって、クラスメイトとの距離がぐんと縮まりました。

8日(月)からは安全に配慮しながら**給食**も始まりました。

1時間目の道徳では、**美術科の村上 蒼先生が書いた漫画を動画にした教材**を使い、授業が行われました。漫画という身近な教材に生徒も興味をもって積極的に授業に取り組み、発熱などの症状が出ても、安心して休養ができる**クラスの雰囲気づくりや友だちの立場に立った思いやり**について学びました。

15日(月)からはクラス全員が揃って通常授業も始まり、29日(月)には部活見学や体験もスタート。**本格的な中学校生活を明るく元氣に過ごしていきます。**



みなさんが、安心して楽しく学校生活を送れるよう、心のサポートを行います。遠慮なく相談室へ来て、話を聞かせて下さい。よろしくお祈りします。

6月1日(月)に、およそ2ヵ月遅れで**始業式**が行われました。当初校庭で2、3年全員が揃い行う予定でしたが、あいにくの雨のため、予め郵送で通知された新クラスの教室と特別教室に分散して入り、放送による始業式となりました。新3年生は春休みに転出と転入がそれぞれ1名ずつあり、110名の3クラス、2年生は転出1人と転入2人で123人の4クラスで新年度をスタート。今年度着任された**松田 公好校長先生のあいさつに続き、今年度転任・新任の先生や主事さん方7名のあいさつが教室に流れました。**放送を真剣な表情で聞き入る様子からは、久しぶりに始まる中学校生活への期待感が感じられました。さらに校長先生から、担任・副担任の発表があると、各教室からは驚きと喜びの歓声が上がりました。

始業式翌日の6月2日(火)には**南千住二中第32回入学式**が行われました。今年度の新入生は、男子72名、女子69名、計141名の5クラス。今年度は全学年で12クラスのスタートとなりました。

式は感染予防対策のため会場となるアリーナでは椅子の間隔を十分にとり、1年生とその保護者のみが参加して行われました。**新入生入場では、担任の先生を先頭に、足並みを揃え、元氣よく手を振り堂々と入場**できました。在校生がいない静まり返った会場が一気に活気を帯び、保護者や教員席からは大きな拍手があふれ、すこし緊張気味な表情も晴れやかなものとなりました。ひとりひとりの名前が担任の先生から読み上げられる呼名では、予防対策で返事はありませんでした、**姿勢を正し胸を張って立ち上がる凛とした姿は大変立派**でした。アリーナでの入・退場や式での起立は初めてでしたが、朝の短い学活での練習だけでしっかりできました。

校長先生の式辞では、「この困難な状況を笑顔で乗り切る『**たくましい人**』になってください」ということばが新入生に贈られました。また、生徒会長○○○○さん(3-1)の歓迎のことばは「**どんなことにも真剣に取り組み、笑顔にあふれる楽しい日々を過ごしていきましょう。私たち上級生も全力でサポートします**」という先輩の心強いメッセージにあふれたものでした。そして、新入生代表が「**何事も最後まであきらめずに努力し、南二中の学校目標である“たくましい人”になれるよう頑張ります**」と誓いのことばを述べました。

これから新しい生活様式の中で始まる中学校生活。全校生徒374名。仲良く楽しく、そして何事にも一生懸命に取り組み、一人ひとりが成長し、誰もが笑顔にあふれる学校をつくっていきましょう。

校長先生の祝辞



生徒会長の歓迎のことば



新入生代表の誓いのことば

